

刊夕日四十二月五

常警毎日新聞

定価 一部全取一 五銭
廣告料 五銭 十二字 一行 金五銭
日曜祭日の翌日 休刊
発行所 常警毎日新聞社
印刷所 常警毎日新聞株式会社



小さな論詩

飛瀧

「詩とは何か」と言ふ事は「人生とは何か」と同様な命題であり、簡単に具体的に定義されず又物理学の如く絶対的客観的普通性を有する定義も公理もないが、詩は感情的言語より成り、個人の精神の價值的表現であり、人間心意の一表象と考へられる。

藤村詩集の序に詩歌は静かなるところにて思ひ起したる感動なりとかや、げにわが歌ぞかき苦闘の告白なるな。げさとわづらひとはわが歌に残りぬ。とある様に、自己の生活思想を表現する藝術であり、個人的感情の記録であると同時に

ノート 六大學リ
用ゐる野
球の球は重さ三十八分
から三十九分九厘は九分
至九分四分ノ一と規定
されてゐる

又無目的な美への活動でもある。此の事實は詩の生れた始めを考へれば、自然明らかになる。詩の誕生は戦歌より始まると言はれる。戦闘の後勝利の亂舞の際に

歌はれ、さらに必然的に勝利に導ける英雄に對する等様が、ローマの「イリヤツド」「オデッサ」のエピックの如く詩となつた。次で戀愛か詩の對象になつた。即ち戀愛と言ふ感情の激發が人間の感情を高揚した状態に置く故に、それは一般感

- ★0000000000
- 明日の献立○
- ◎0000000000★
- 【朝】味噌汁 菜 小付
- こんぶ佃煮
- 【晝】ひじき 油揚 煮付
- 【晚】清汁 豆腐 シニョーマ

情の中から一段高められ昇華された波であるが故に、その戀愛感情が他に其感を求める想度は勢ひ情緒的ならざるを得ないのである。勝利の悦び戀愛の情熱、共に主観的なものであり個人の直観の上に攝取されたものであり、人間の秘性の知覺的流出である故に詩は萬有の根底に實在し、絶對表現への精進努力の一呼吸の情緒本位な結晶である。



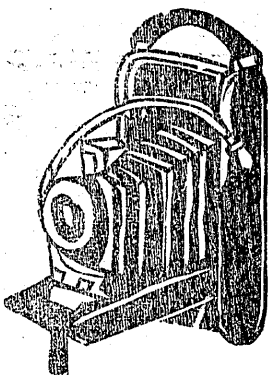
みどり兒
長瀬 綠葉
なれぬ歌われうたひつゝ

頭重て不快の方

二三回で不思議に快癒する

フタバの磁氣

平町中仲町(電一九三番)



花も散つて、自然は緑の世界と變りました。野に山にハイキングの好シムズンです。MSカメラこそ貴方の樂しき一日を永遠に残すことせう。

少年用 年少用
型トスベ
ニロフ
一四圓
二五圓
十圓
十二圓
新型MSカメラ
種各材料とラメカ
部ラメカやみづい 前驛平

外科 X 科線光

上田外科醫院

平町南町
電話一二九番

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雑誌が
自由に讀める
川崎 文庫
電六三〇番
(申込次第規則書進呈)

麒麟生ビール

近日發賣

平會館

電 624

石炭一〇〇パーセント
サーヴキス

時節柄 値下げ!

一等塊 正味五〇斤入一俵 金貳拾八錢
特塊同 金參拾五錢

品質が優良 デナケレバ 一段バカリ安クトモ結局
目方か正確

此の点は當店を絶對に御信用願ひます
◎市内は一俵より配達致します

電話三七番



石炭 阿部石炭商店

五月武者人形

大賣出し

御座敷幟、布鯉、鎧、兜
諸道具類一式

例年の通り豊富陳列致しました。是非御一覽之程御待ち願ひます。値段は特に勉強いたします。但珍物として勿來關人形、神武天皇人形

平町三丁目東通

叶加藤商店

警部補の第六感で

若い男女が救はる

▽郵便局長の令嬢と

拳闘會書記情死を企つ

昨廿三日夜平警署直室で當直の司法主任齊藤警部補が市内各旅館の宿泊人名簿を檢閲した處二三日前から平町七丁目旅館

熱心湯に 泊り込んで居る若夫婦が怪しく第六感に響いたので直に警官を向けて二人を本署に同行取調ると最初は四倉町本町自稱官吏鈴木三郎(三)同妻トミ(三)と云ひ張つて居たが

四倉署に 照會した結果果男は四倉町本町生れ當時仙臺市田町大日本拳闘會仙臺出張所書記長谷川武次郎(三)また女は仙臺市南鍛冶町居住同市越路町郵便局長庄司政明氏長女ト子(三)の兩名と判明したが二人は四月頃からフトした機會で戀仲となり女の親に結婚を**反對され** 去る廿一日手を取り合つて男の郷里に近い平町に愛の巢を營む爲め逃避したが問もなく所持金も使ひ果たして進退極り昨夜遅く二人は劇薬クレゾールを嚥んで自殺を計るべく遺書を認めて居る折柄平署に同行されたものであつて齊藤警部補の第六感があつて男女の危ふい命を救はる

孤獨の一 誰一人

悲惨劇を知らず
子供を絞殺已れば縊首
家出の妻も自殺?

近所の噂が可憐壯年の農夫を悩まし子供を絞殺自分も縊首を遂げた悲しむべき事件がある大野村大字山木屋字横谷五七農末太郎(三)は同村後藤カネヨ(三)方へ入籍

既報四倉署市場は春蠶購入資金として中央金庫に七萬圓の申請を行つたので中央金庫では来る廿六日係官を四倉・植田兩市場に派遣して詳細な調査を行ふ事になつた

郡下の女教員が

萬丈の紅氣焰

本郡女教員會は來月五日午後八時、古川縣視學の訓辭及び會員の意見發表がある

中央倉庫

詳細調査

四倉市場

既報四倉署市場は春蠶購入資金として中央金庫に七萬圓の申請を行つたので中央金庫では来る廿六日係官を四倉・植田兩市場に派遣して詳細な調査を行ふ事になつた

飯米欠乏の

玉川村が

政府米拂下

玉川村にては飯米欠乏の對策を講ずる爲め廿二日午後二時より村會を開き政府米と過してゐた處近隣の人々は肺病だといつて誰一人寄り付かぬのを悲觀した妻カネヨは廿二日午前九時頃夫男信男を背負つて無斷家出してしまつた

平町人事

△出 生
△田町三二 清野延由氏二
者のない此の一家に斯かる悲惨な出来事を誰一人知る者としてなく翌廿三日朝

馬を借る爲

△遠方より訪ねてきたカネヨの姉が始めて發見仰天して四倉署へ急報大騒ぎとなつたが一方無斷家出した妻カネヨの行方はまだ判明せず或いは山中で自殺したのではないかと全村あげて捜索かゝつてゐる

病床に悶々

△思ひ餘つた末太郎は遂に自殺を決定し同日夜十時頃先づ愛児光雄を豆絞木綿帯で絞殺し自分は縊死を遂げてしまつた村内に行き來する

東京短期(本日)

寄付	大引	高値	安値
新東 一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
新大 八〇	八〇	八〇	八〇
新中 六〇	六〇	六〇	六〇
新小 四〇	四〇	四〇	四〇
新幼 二〇	二〇	二〇	二〇
新新 一〇	一〇	一〇	一〇
新新 一〇	一〇	一〇	一〇
新新 一〇	一〇	一〇	一〇
新新 一〇	一〇	一〇	一〇

米

東	中	先	大
一節 三九	一節 四〇	一節 四一	一節 四二
二節 三五	二節 三六	二節 三七	二節 三八
三節 三一	三節 三二	三節 三三	三節 三四
四節 二七	四節 二八	四節 二九	四節 三〇
五節 二三	五節 二四	五節 二五	五節 二六
六節 一九	六節 二〇	六節 二一	六節 二二
七節 一五	七節 一六	七節 一七	七節 一八
八節 一一	八節 一二	八節 一三	八節 一四
九節 〇七	九節 〇八	九節 〇九	九節 一〇
十節 〇三	十節 〇四	十節 〇五	十節 〇六

喜多流謠曲と仕舞

お稽古を奨め致します

平町田町六九
電話一七七番

耳鼻咽喉科専門

鈴木醫院

醫學士 鈴木正男
平町田町(電話五八番)
藤田女學校前
自炊のお需めに應ず
入院の便あり

無心の幼児を

死出の道連れに

血の出る金一圓を紛失

強か叱責され母子心中

今朝抱合屍体発見

内郷村大字綴字堀坂居住坑夫爲治の妻峯村ハツ(三)は去る廿一日朝、二男の隆雄(三)を連れて家出したので家人が心當りを捜索中の處本廿四日朝湯本町字朴木澤地内池で親子が抱き合ひ溺死して居るのを通行人が発見

二機が飛來して

江名上空を訪る

けふの一週忌慰靈祭に

當時を追想胸を打つ

本廿四日午前十時から江名町字永崎海岸に舉行された島本、増田兩少佐の海軍機墜落遭難一週忌慰靈祭には横須賀鎮守府司令官代理及び園部男爵其他地元関係者二百餘名参列し盛大に執行され横須賀航空隊より攻撃機二機が飛來、式場上空を弔慰飛行し参列者に當時を追想せしめ胸を打つものがあつた

美術展入選

遠藤君の作品
平美友會同人遠藤正三君は

東京見學

内郷の學童

功に依り表彰

勿來町役場書記市川忠八氏は來る廿七日日露海戰三週紀念日當日多年軍事業務に盡力した功により海軍大臣から感謝狀に記念品を添へて表彰される

市川書記

勿來町役場書記市川忠八氏は來る廿七日日露海戰三週紀念日當日多年軍事業務に盡力した功により海軍大臣から感謝狀に記念品を添へて表彰される

波に乗り

黄金時代の
相次ぐ試掘願

炭礦黄金時代の波に乗つて新坑開鑿の試掘願は續々と仙臺礦山監督局へ殺到して居るが廿四日附許可のもの左の如し

△山田村地内四十萬八千坪、宮城縣桃生郡前谷地村齊藤株式會社△田人村地内四十二萬九千坪

明日のラジオ
廿五日

今晩は北西の風
明日は北東の風
晴曇半す

- 今晩の部
- 後六、〇〇(子供の時間) 童話劇「伊達の笥」H.K.こども會
 - 後六、二五 基礎英語講座 (廿)岡倉由三郎
 - 伊達政宗公三百年祭記念
 - 後七、三〇 座談會「政宗公を語る」防刀出令造 小倉博外
 - 後八、三〇 神樂と俚謠

見學團來平 名古屋鐵道教習所の生徒二十九名の見學團は來月二日午後一時五十七分平驛着列車で來平驛炭を見學する

沈澱池の清掃 平町役場では來る廿八日午前十時より上野原沈澱池を清掃する

平町各校打合 平町各小學校長及び首席は今廿四日午後一時より平第一校に參集來月分行事其他について事務打合せを行つた

喜の華會 第七回教授披露 喜の華會演奏會は明後廿六日(日曜)マルトモホールで午後一時と六時の晝夜二回に亘り開かれるが今回の演奏會は司會者鈴木佐喜男女史の高弟梅原佐喜華、同村佐喜信兩嬢の教授昇格披露をあげた

- 明日の部
- 前一、〇〇 家庭講義「神經衰弱の癒し方」高良武久
 - 前二、〇〇 大楠公史蹟廻り(第四日)臨地講演「淡川の史蹟に大楠公を偲ぶ」東大講師宮地直一
 - 後〇、〇五 和洋合奏 長唄部鳥富士管絃樂團 指揮近藤信一
 - 後一、〇〇 野球試合實況 東京大學野球聯盟リーグ
 - 後二、〇〇 婦人の時間「婦道の精華楠公夫人」文學博士中村孝也
 - 後六、〇〇 子供の時間 童話と唱歌 一、齋唱「飯

ドッチボール 昨報來る廿七日の海軍記念日に強行軍を試みる平第二校では同日午後二時三十分より四年以上兒童のドッチボール大會を催すと

夏井青年總會 夏井村青年團は廿七日海軍記念日を卜し春季總會を開き新事業等を協議すると

大敷網が多額に 村税を負担して 下級生活者大助り

豊間村は現在六百九十戸の世帯數を數へて居るが其内戸數割を賦課されるのは五百五十戸で残りの百四十戸は全々賦課を免除されて居る是れは大敷網事務所が千二百圓の多額を一手に負擔するの結果で此の恩恵を蒙り下級生活者は一文も負擔なく村政の料理が出来るのであると

藤沼醫院
平町・紺屋町
電話五〇七番



明治太平記

(上巻及上巻)

(作) 寺島征史
(監) 野口

第三百十一回

延賓館夜景(十二)

「貴女は、なぜその様に高島田に振袖姿でダンスをなさるかな」

「あのう、では洋装にしらとおつしやいますか」

「いや、其の振袖姿はよう似合ふ……が、何分にも世の中が大分洋風に變りましてな、上等社會ではほとんど洋装と云ふ事になりましたので、したがつて貴女なども洋装がよろしいかと……」

「西洋をまねる必要がないと思ひますわ」

「いや、今に反對に西洋の貴婦人がみんな和装を真似るやうになりますわ」

「たとへ、さういふ時がきてもそれは將來の事ぢや」

「いゝえ、きつと近いうちにさういふ時勢になりますわ」

「……」

大隈は再び廟議の席上のつもりで、肩肘を張つたのに心付いて、また心に苦笑を續けた。

「貴女のお名を洩して戴けぬかな」

「オホ、……、よくみな様



何より第一にそのことをお訊ねなさいませわ」

「……」

「これはいかん……と大隈は三度苦笑した。女は心を買はうとするものが女に議論を吹つかけるやうでは、先づ落第だと思つて大隈は心に苦笑した。」

「……」

と相談したい事がある」

「あら、みな様もやはりそんな事をおつしやいますわ

殿方つてみんな同じやうなお心ね、オホ、……」

「いや、わしの相談と云ふのはちと趣きを異にして居る、實は……」

「まア、そんなむづかしさうなお顔で戀を語るなンか

オホ、……、

「戀！」

大隈は強い打撃を面上に加へられたやうに驚いて叫んだ。

「さア、あちらで踊りませ

な」

「わい、戀して居るのはわしぢやない」

「おや」

おふくは再び長椅子にふかんとつづもれた。

「貴方ぢやございませんでしたの」

「わしに、戀が出来ると思ふのか……わしぢやない。

あなたに戀慕して居るのはさる外國使臣ぢや」

「どなた？」

「英國公使、パークス殿ぢや」

「わかつてますわ」

「なに？」

「パークスさんの色好きは存じてゐますわ」

小貴婦人を装ふおふくはそろ／＼地金を現はして来る、お上品を作つて居るその眼に、唇に、頬に汚女の陰影がかすかにきざし始めた。

三五年型流線美の極致

陸の王者

流線ダツチ

花と競ふその艶姿……乗心地……

到着

電話三二番

東京鐵道局公認

着

不二タクシー

御参詣團體募集

一、柳居津國藏會 (猪苗代湖、白虎隊廻り)

申込切 五月三十一日

二、成田山 (宇吾嶽、笠間稻荷廻り)

申込切 六月一日午前四時

三日、光 (笠間稻荷廻り)

申込切 六月四日午前三時

出 發 六月七日午前一時

定員ハ各車共二十二名
定員未滿ノ節ハ勝手ラ延期致ス事モアリマス
尙御希望ニ依リ各種團體モ御相談ニ應ジマス

主催 尼子遊覽部

電話六四〇番

10日検査新 お宅の体温計は?

◎確な体温計を御使用下さい
◎毎月十日の検査日御利用下さい

度量衡 指定販賣人 西村屋藥局

計量器 平・二電三番

花柳病科 専門

木村外科醫院

自炊入院の便あり 電話三〇九番 平町六丁目橋際



玉屋洋品店

平町田町通電話六五六番